



# 「ささっと調べて、すっきり除菌！」

ピロリ菌よさらば…胃がんよさらば!!

1ページの「のみ市民公開講座」でも取り上げられた「ピロリ菌と胃がん」。  
 団塊の世代の方の半数以上がピロリ菌に感染しており、推定患者数は3,500万人とも言われています。  
 しかし「自分が感染しているかどうか知らない」という方や、症状がないため放置している方も少なくないようです。実はこのピロリ菌、胃がんの発生原因の一つとなっています。  
 今月のヤッ芳では、ピロリ菌と胃がんの関係、検査や除菌方法についてお伝えします。

ピロリ菌はこんな形!



一方の端に4~6本の毛があり  
活発に動きます

## ○ ヘリコバクター・ピロリ菌

胃がんのもととなる細菌!

ヘリコバクター・ピロリ菌は胃粘膜に生息する「らせん」の形をした細菌です。ピロリ菌がいると胃粘膜が慢性的な炎症を起こして萎縮し、胃・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、胃がんなどの原因になると考えられています。

〈胃の萎縮進行度のイメージ〉



※ピロリ菌に感染していない人は、ほとんど胃がんの発生は見られません。  
 ※ピロリ菌感染があつて、胃がんを発症する人は、約3%です。

日本ヘリコバクター学会のガイドラインでは、ピロリ菌に関連する疾患の治療および予防のため、感染者すべてに除菌療法を受けることが強く勧められています。

## ○ 感染経路と感染率

ほとんどが幼少期に感染し一生持続

ピロリ菌は、ほとんどが免疫力の弱い小児期に感染します。感染すると、菌は胃に定着し、一生感染が持続します。しかしほとんどの場合、自覚症状はありません。

感染源は、家庭内感染（離乳食の口移しなど）や水系感染（ピロリ菌に汚染された水の摂取）、食品を介した感染、施設内感染（保育園・幼稚園、障害児施設など）、医原性感染（消毒の不十分な医療行為）などと考えられています。

しかし、衛生環境が整ったことにより、ピロリ菌に感染している割合は減少しており、若い世代では低くなっています。今後ますますピロリ菌に感染している人は減っていくと予想されています。

column.

**感染は予防できる?!**

小児期に、知らないうちに感染していることが多いピロリ菌。残念ながら、感染を予防する方法はよく分かっていません。まず、感染しているかどうかを検査し、早めに除菌することが大切です。

## ○ 検査方法について

胃カメラ検査で簡単にわかります

ピロリ菌感染を調べる検査は6種類あり、いずれかの検査を受ける事で感染の有無がわかります。また、ピロリ菌に感染していると分かった方が内視鏡（胃カメラ）で胃の中を診察した結果、胃炎と診断されれば、健康保険による除菌治療が受けられます。

胃炎の方へ

今年2月から、  
健康保険で除菌が  
できるようになりました！

## ピロリ菌感染を調べる6つの検査法

### 内視鏡（胃カメラ）を使う方法

内視鏡により採取した胃の組織を使って検査します

- 迅速ウレアーゼ法  
ピロリ菌がもつウレアーゼ活性を利用し、アンモニアの有無を調べます。
- 鏡検法  
組織を顕微鏡で観察してピロリ菌がいるか調べます。
- 培養法  
組織を培養してピロリ菌がいるか調べます。

### 内視鏡（胃カメラ）を使わない方法

- 抗体測定  
血液を採取してピロリ菌に対する抗体があるか調べます。
- 尿素呼気試験  
検査薬を飲んだ後の呼気を集めてピロリ菌を調べます。
- 便中抗原測定  
便を採取してピロリ菌抗原があるか調べます。

## ○ 除菌治療について

1次・2次除菌での成功率は95%!

除菌治療は胃酸を抑える薬と2種類の抗菌薬、計3剤を1日2回、7日間服用します。除菌が成功したかどうかの検査は、治療後4週間以上経過（※）してから行います。1回目の除菌治療で除菌できなかった場合、2次除菌が行われることとなりますが、現在はここまで

健康保険が適用されています。

（※）可能であれば2~3ヶ月経過後の検査が望ましい

飲み忘れがないように工夫されたパッケージ



### 除菌を1回で成功させる秘訣

column.

除菌治療は“一撃必殺”で成功させたいもの。ポイントは「禁酒・禁煙・食養生」です。脂肪の多い食品（揚げ物等）や、胃酸の分泌を促す食品（アルコール・香辛料・コーヒー・甘い菓子等）を避けると効果的です。誘惑の多い旅行や宴会などの予定がある時期は避けましょう。



## ○ 当院の検査・治療体制

まずは消化器科にご相談ください!

ピロリ菌感染の有無を調べたい方、ピロリ菌の除菌を希望される方は、消化器科外来にご相談ください。なお、胃の内視鏡検査を受けたことのある方は、結果を持参ください。

### 芳珠記念病院 消化器科

月~土

受付 7:45 ~ 11:30  
診察 8:45 ~ 12:30

がんになるリスクを  
少しでも減らすために。

日本人の2人に一人ががんにかかる時代。ピロリ菌の除菌で胃がんのリスクを軽減できます。検査や治療は簡単で、健康保険が適応になることもあります。まずはお気軽にご相談ください。



消化器科部長  
渡辺 美智夫